



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <https://www.oguraclutch.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 竹内 修 (TEL) 0277-54-7101
 兼グローバル財務部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	20,446	3.8	△64	—	443	—	201	—
2022年3月期第2四半期	19,703	29.4	△205	—	△96	—	△307	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,656百万円(814.2%) 2022年3月期第2四半期 181百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	134.56	—
2022年3月期第2四半期	△205.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	46,669	15,653	33.5	10,447.98
2022年3月期	46,773	14,076	30.1	9,391.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 15,636百万円 2022年3月期 14,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期(予想) 期末配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	11.8	250	—	770	—	330	—	220.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,553,323株	2022年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	56,740株	2022年3月期	56,668株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,496,628株	2022年3月期2Q	1,496,780株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化や原材料・エネルギーなどの高騰に加え、中国での一部都市封鎖や欧米諸国によるインフレ進行に対する金融引き締め等、依然として不透明な経済状況で推移しました。

日本経済においても、各種政策の効果や行動制限の緩和などにより社会経済活動が正常化に向かいましたが、半導体不足の影響、資源高や急激な円安による物価上昇などが懸念材料となっております。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は20,446百万円と前年同期と比べ743百万円の増加（前年同期比3.8%増）となりましたが、原材料や海上運賃の上昇などの影響により、営業損失は64百万円（前年同期は205百万円の営業損失）となりました。経常利益は443百万円（前年同期は96百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は201百万円（前年同期は307百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、世界的な半導体の不足や新型コロナウイルス感染症による部品調達の停滞の影響を受けましたが、材料・物流費の高騰に伴う販売価格の変動や円安による為替換算の影響などにより売上は増加しました。

その結果、売上高は13,990百万円と前年同期と比べ197百万円の増加（前年同期比1.4%増）となり、セグメント損失は338百万円（前年同期は336百万円のセグメント損失）となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、モーター、変・減速機、シャッター、昇降・運搬、ロボットなどの各業界向けの売上が増加しました。

その結果、売上高は6,213百万円と前年同期と比べ823百万円の増加（前年同期比15.3%増）となり、セグメント利益は280百万円と前年同期と比べ170百万円の増加（前年同期比154.3%増）となりました。

③ その他

その他では、売上高が242百万円と前年同期と比べ277百万円の減少（前年同期比53.4%減）となり、セグメント損失は6百万円（前年同期は20百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、現金及び預金の減少等により31,189百万円（前期末比759百万円減）となりました。固定資産は主に、有形固定資産の増加等により15,480百万円（前期末比655百万円増）となりました。その結果、資産合計は46,669百万円（前期末比104百万円減）となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金の減少等により24,928百万円（前期末比1,269百万円減）となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により6,087百万円（前期末比411百万円減）となりました。その結果、負債合計は31,015百万円（前期末比1,681百万円減）となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の増加等により15,653百万円（前期末比1,577百万円増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は744百万円(前年同期比65百万円増)となりました。これは主に減価償却費878百万円と仕入債務の減少額1,666百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は655百万円(前年同期比565百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出928百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,302百万円(前年同期に得られた資金は209百万円)となりました。これは主に借入金の返済支出によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日(2022年11月14日)公表いたしました「営業外収益(為替差益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,014	5,131
受取手形及び売掛金	8,129	9,361
電子記録債権	2,332	2,178
商品及び製品	4,622	5,508
仕掛品	4,562	4,784
原材料及び貯蔵品	3,186	3,514
その他	1,208	840
貸倒引当金	△107	△131
流動資産合計	31,948	31,189
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,803	4,878
その他(純額)	7,141	7,580
有形固定資産合計	11,944	12,458
無形固定資産		
その他	610	898
無形固定資産合計	610	898
投資その他の資産	2,269	2,122
固定資産合計	14,824	15,480
資産合計	46,773	46,669
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,307	3,592
電子記録債務	4,617	4,338
短期借入金	14,872	14,708
未払法人税等	135	166
賞与引当金	310	314
その他	1,954	1,806
流動負債合計	26,197	24,928
固定負債		
長期借入金	4,761	4,236
繰延税金負債	474	492
役員退職慰労引当金	767	764
退職給付に係る負債	197	209
その他	298	383
固定負債合計	6,498	6,087
負債合計	32,696	31,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,759	1,760
利益剰余金	9,909	10,036
自己株式	△351	△351
株主資本合計	13,177	13,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	540	446
為替換算調整勘定	237	1,789
退職給付に係る調整累計額	101	95
その他の包括利益累計額合計	878	2,332
非支配株主持分	20	17
純資産合計	14,076	15,653
負債純資産合計	46,773	46,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	19,703	20,446
売上原価	16,696	17,068
売上総利益	3,006	3,378
販売費及び一般管理費	3,212	3,443
営業損失(△)	△205	△64
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	23	30
為替差益	47	506
不動産賃貸料	35	29
補助金収入	50	—
雇用調整助成金	—	17
その他	56	48
営業外収益合計	218	641
営業外費用		
支払利息	82	95
手形売却損	2	9
その他	24	28
営業外費用合計	108	132
経常利益又は経常損失(△)	△96	443
特別損失		
固定資産除却損	—	10
特別損失合計	—	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△96	433
法人税、住民税及び事業税	142	218
法人税等調整額	24	14
法人税等合計	167	233
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△263	200
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	43	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△307	201

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△263	200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	△93
為替換算調整勘定	551	1,554
退職給付に係る調整額	△8	△5
その他の包括利益合計	444	1,455
四半期包括利益	181	1,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109	1,654
非支配株主に係る四半期包括利益	71	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△96	433
減価償却費	814	878
のれん償却額	9	10
固定資産除却損	—	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24	7
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	4
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△22	△18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	△1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24	△2
受取利息及び受取配当金	△28	△39
補助金収入	△50	—
雇用調整助成金	—	△17
支払利息	82	95
為替差損益(△は益)	△52	△271
売上債権の増減額(△は増加)	205	△200
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,878	△307
仕入債務の増減額(△は減少)	568	△1,666
その他	△164	546
小計	△606	△538
利息及び配当金の受取額	25	36
利息の支払額	△82	△95
補助金の受取額	50	—
雇用調整助成金の受取額	—	17
法人税等の支払額	△65	△164
営業活動によるキャッシュ・フロー	△678	△744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,213	△724
定期預金の払戻による収入	1,586	1,230
有形固定資産の取得による支出	△817	△928
有形固定資産の売却による収入	374	3
投資有価証券の取得による支出	△55	△2
投資有価証券の売却による収入	52	—
貸付けによる支出	△0	△3
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△18	△229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90	△655

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,646	3,696
短期借入金の返済による支出	△3,063	△4,187
長期借入れによる収入	43	—
長期借入金の返済による支出	△698	△679
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△148	△73
非支配株主への配当金の支払額	△2	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△505	△4
その他	△62	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	209	△1,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	194	324
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△364	△2,377
現金及び現金同等物の期首残高	6,762	6,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,397	4,365

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,793	5,389	19,183	519	19,703
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	14	37	—	37
計	13,816	5,404	19,221	519	19,740
セグメント利益又は損失(△)	△336	110	△225	20	△205

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△225
「その他」の区分の利益	20
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△205

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,990	6,213	20,204	242	20,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	7	35	—	35
計	14,019	6,220	20,239	242	20,482
セグメント利益又は損失(△)	△338	280	△58	△6	△64

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△58
「その他」の区分の損失(△)	△6
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△64

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	4,025	3,423	7,449	481	7,930
中国	1,131	1,504	2,635	—	2,635
アジア(中国除く)	3,204	185	3,390	0	3,390
アメリカ	3,686	123	3,810	35	3,845
欧州	1,450	32	1,483	1	1,484
その他	294	120	414	1	416
顧客との契約から生じる収益	13,793	5,389	19,183	519	19,703
外部顧客への売上高	13,793	5,389	19,183	519	19,703

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	4,099	3,797	7,896	202	8,099
中国	898	1,789	2,687	—	2,687
アジア(中国除く)	3,360	227	3,588	0	3,589
アメリカ	3,978	244	4,223	32	4,256
欧州	1,425	14	1,439	1	1,440
その他	227	140	367	4	372
顧客との契約から生じる収益	13,990	6,213	20,204	242	20,446
外部顧客への売上高	13,990	6,213	20,204	242	20,446

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。